



岡山市立市民病院だより

vol.38

Kitanagase Wind
2026.02

北長瀬の風

ご自由にお持ち帰り
ください
無料



※撮影用にマスクを外しています。



Contents

- 手術支援ロボット「ダビンチ5」のご紹介
- ロボット手術を語るクロストーク
『医師の技を最大限に引き出す、新しい手術のかたち』
- ペインクリニック外科を開設しました
- 知っ得! 感染症!
『風邪に抗菌薬は効きません』
- 南風～せのお病院だより⑧～
- 連携医療機関の紹介『川村医院』
- 市民病院Topics

10年ぶりの最新機種となる、 手術支援ロボット「ダビンチ5」による手術を開始

2025年12月、当院は最新の手術支援ロボット「ダビンチ5」を導入し、2026年2月には第一例目となる手術を行いました。

ロボット手術は、前立腺がんをはじめ、胃がん・大腸がんなど幅広い領域で標準治療として普及が進んでおり、現代の医療を支える重要な選択肢のひとつとなっています。地域の未来を思いながら、当院はこれからも、より良い医療を目指して歩みを重ねていきます。

進化する手術を、身近な医療として。

—最新機種「ダビンチ5」導入で切り拓く、新しい手術医療—



「より安全に、より体への負担を抑えた手術を」——その思いから、2025年12月、当院では約10年ぶりに刷新された最新機種となる手術支援ロボット「ダビンチ5」を導入しました。

ロボット手術は医師が機械を操作しながら行う手術で、精密な操作が可能になる一方、使いこなすためには十分な経験とチーム体制が欠かせません。当院では、これまでの手術実績とロボット手術の知識を持つ医師が連携し、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を目指します。

Q1 ロボットが自動で手術をするのですか？

A

ロボットが自動で手術をするわけではなく、医師がロボットを「精密な道具」として使用し手術を行うものです。医師は手元の操作装置を使い、モニターで体の中を拡大しながらロボットの腕を動かします。当院では、既に他施設でロボット手術の経験を重ねてきた医師が手術を担当します。

Q2 ロボット手術はどのようなメリットがありますか？

A

体への負担を抑えながら、より精密で安全性に配慮した手術が行える点です。医師の手の動きを細かく再現できるため操作が安定し、傷が小さく出血も抑えやすいことから、術後の痛みや回復期間の軽減、合併症リスクの低減が期待されます。

手術支援ロボットダビンチ5 3つの進化ポイント



1

最大の進化「触覚フィードバック（力覚）」の搭載

- 組織にかかる力を手元で感じ取れる
- 「引きすぎ」「押しすぎ」を防ぎやすい

これまでのロボット手術では、組織に触れたときの「手応え」を直接感じることができない点が課題とされてきました。手術支援ロボット「ダビンチ5」の最新モデル「ダビンチ5」では、器具が組織に触れた際の抵抗や力のかかり具合を医師の手に伝える「触覚（力覚）フィードバック」機能が新たに搭載されています。この機能により、組織の硬さや引っ張り具合を感覚的に確かめながら手術ができるようになりました。力のかけ過ぎを防ぎつつ、より繊細でやさしい操作が可能となり、安全性の向上や体への負担軽減、合併症リスクの低減が期待されます。

組織にかかる力をリアルタイムで計測し、器具が組織に触れたときの“硬さ・抵抗・引っ張り具合”が術者の手に伝わるよう操作ハンドにフィードバックする



2

操作性・安定性のさらなる向上

- 自然な手の動きを再現する多関節構造
- 手ぶれを抑える高度な制御
- より高精細な3D映像による安定した視野

ロボットの多関節アームや手ぶれ補正機能は、従来機種から高い評価を受けてきました。ダビンチ5では、これらの機能がさらに洗練され、狭く深い部位でも安定した操作を行うことができます。

3

手術データを「見える化」する新機能

- 手術プロセスのデータを記録・分析

手術中の操作データを詳細に記録できる点も大きな特長です。操作回数や動線、器具の動き、力のかかり方など、どのようなプロセスで手術が行われたかを振り返ることができます。手術の質と安全性の標準化につながるだけでなく、医師の教育・技術向上にも役立ちます。

対象となる疾患

当院でロボット手術の対象となるのは以下の疾患です。

前立腺がん

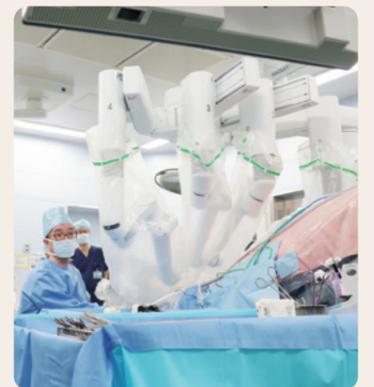
大腸がん

胃がん

※すべての手術がロボット適応になるわけではありません。患者さん一人ひとりの状態に合わせ、最適な方法を選択します。

当院初のダビンチ5によるロボット手術を実施しました

2026年2月10日、手術支援ロボット「ダビンチ5」による当院第一例目の手術を行いました。前立腺がんに対する手術で、執刀は堀川雄平医師が担当。今後の治療の選択肢を広げていく第一歩となります。



次のページは…

クlostーク「医師の技を最大限に引き出す、新しい手術のかたち」

ロボット手術における強み、当院がこれから目指す姿など、泌尿器科・外科医師が語ります。

手術支援ロボット「ダビンチ5」がやってきました！



橋田 真輔
はしだ しんすけ

佃 和憲
つくだ かずのり

堀川 雄平
ほりかわ ゆうへい

CROSS TALK

医師の技を最大限に引き出す、新しい手術のかたち

「ロボット手術」は、医師の技術を支える新しい手術支援です。今回は、泌尿器科・外科の医師3名に、ロボット手術の実際と、ダビンチ5導入への思いを聞きました。

ロボット手術の基本と、各分野で生きるダビンチの強み

—まず、ロボット手術と聞くと「ロボットが勝手に手術するのでは」と不安に思う方もいらっしゃると思います。実際にはどのような手術で、どのような強みがあるのでしょうか？

佃医師（外科主任部長・大腸がん専門／以下佃）：

ロボットが自分で判断して手術することはありません。医師が「コンソール」と呼ばれる操作台に座り、画面を見ながらロボットを操作する、リモートコントロールのような手術ですね。実際に患者さんの体に触れるのはロボットですが、動かしているのは医師です。

私の専門である大腸がんについてお話しすると、例えば直腸がんは骨盤の奥深くにあり、非常に難易度の高い手術になります。ロボットは多関節構造で3次元的に細かく動かせるため、「本当に切りたい場所」に正確に届きます。



当院では、すべてを一気にロボットへ切り替えるのではなく、難易度の高い症例を中心に、安全性を重視して導入していく考えです。

—続いて、胃がんについて橋田先生からお願いします。

橋田医師（外科主任医長・胃がん専門／以下橋田）：

胃がんの手術では、脾臓を越えて奥深いリンパ節を取る必要があります。

従来の腹腔鏡手術では器具の動きが直線に限定され、工夫が必要でしたが、ロボットは先端が自由に曲がるため奥まで自然に届きます。

高難易度の手術ほど、この柔軟性と安定した視野が大きなメリットになります。一方で、機械の準備に時間がかかることやコスト面は課題ですね。

—泌尿器科、前立腺がんの分野ではいかがでしょうか。

堀川医師（泌尿器科部長／以下・堀川）：

前立腺も直腸と同様に骨盤の奥深くにあり、尚且つ血管が多く、出血しやすい臓器です。

ロボット手術では血管を目で確認しながら丁寧に処置でき、出血を抑えやすくなります。また、前立腺を取ったあと、膀胱と尿道をつなぐ繊細な作業にもロボットの安定した動きが非常に役立ちます。

力が強い分、臓器を傷つけないよう注意は必要ですが、慎重に扱えば大きな安心感があります。

市民病院としての役割、地域医療の未来のために

—今回、最新機種「ダビンチ5」をこのタイミングで導入した背景について教えてください。

佃：ロボット手術が全国的に標準化していく中で、地域の皆さんに標準治療を提供し続けるために導入に踏み切りました。高価な医療機器ですから、当院は公立病院という立場もあり、これまで導入には慎重にならざるを得ませんでした。地域医療の未来のために必要不可欠と判断しました。

私たちの目的は「ロボットを入れること」ではなく、「地域の皆さんにより良い医療を提供すること」です。ダビンチ5は10年ぶりに登場した最新機種で、従来に比べて操作性や安全性が向上しており、今後の主流となっていくと期待されています。今導入できたのは良いタイミングだったと感じています。

橋田：ロボット手術のデメリットは触覚が無いことでしたが、ダビンチ5では疑似的に触覚を再現した「力覚」の実装、手術データ解析機能の向上など強みがありますね。



—これまでのご経験から、ロボット手術への今後の期待や展望について教えてください。

堀川：前任地では、ロボット手術を助手から術者まで数多く経験してきました。精緻な操作性と安定性は大きな強みで、前立腺がん治療では合併症の軽減にもつながります。こうした利点を生かし、患者さんの生活の質を大切に治療を当院で実践していきたいと思っています。

橋田：これまでにロボット手術を経験し、助手から術者、プロクター（指導者）へと段階的に研鑽を積んできました。多関節機能による高い安定性は、進行がんや食道胃接



それから、当院の使命のひとつである「教育」における重要性も導入の背景にあります。これから外科系の医師を志す者はロボット手術を扱えなくてはなりません。また、救急も当院の重要な役割ですが、救急という環境下で技術を活かせるようになるためには、定期的手術でひとつひとつ学び、症例を積み重ねる必要があります。次世代の医療人を育てるためには教育研修機関としてロボットの導入は必須でした。

堀川：前立腺手術は、全国的にほぼロボットが標準となっています。今回の導入で、当院でも前立腺手術を再開できて、今後も地域の皆さんに標準治療を提供し続けられることをうれしく思っています。

合部がんなど複雑な手術で力を発揮します。導入を機に、より幅広い症例に対応していきたいと思っています。

—最後に、今後の展望と読者へのメッセージをお願いします。

佃：最初は限られた症例から慎重に始めることになりましたが、今後さらにニーズが高まる未来を見据え、皆さんが手術を受けるといった状況になった時により良い選択肢を提供できる体制を整えていきます。

堀川：まずは安全を最優先に、時間や体制に余裕を持ち臨みたいと思います。スタッフ全員の習熟や体制の強化を目指し、その先にはさらに高度な治療に挑戦していきたいと考えています。

橋田：何より大切なのは安全性です。ロボット手術の経験が豊富な医師を中心にチームを育て、ロボットの力を正しく生かしてがんを治し、患者さんの予後を良くする。その積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

当院の

〈 2025年10月 〉

ペインクリニック外科を開設しました

ごあいさつ



このたび、2025年10月1日より着任いたしました川西進と申します。専門は麻酔、集中治療、そして「痛み」の治療であるペインクリニックです。地域のみなさんが健やかに過ごしていただけるよう、日々の診療に誠心誠意取り組んでまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ペインクリニック外科
かわにしすすむ
部長 川西進

ペインクリニック外科について

痛みの軽減と 生活の質の向上を 目指して



▲手術室での神経ブロック注射(写真左:川西医師 右:武藤医師)

みなさんのなかには日ごろから「痛み」をかかえていらっしゃる、という方が多いのではないのでしょうか?高齢者の痛みの代表株である腰痛の人口は実に5人に1人とされています。当院のペインクリニック外科では、腰痛や肩こり、神経痛、ケガや、手術のあとの痛み、がんの痛み、など様々な「痛み」に対して専門的な診療を行います。

外来の診療にはお薬の処方、点滴、神経ブロックなどがあり、現在4名のペインクリニック専門医が担当いたしております。一人ひとりにあった治療を組み合わせ、「痛み」を軽くして快適な生活を取り戻すお手伝いをいたします。

手術室での神経ブロックも実施しており、日帰り入院から、手術をとまなう神経ブロックでは1週間程度の入院をしていただいております。



知っ得! 感染症!

岡山市立市民病院
感染管理室

風邪に抗菌薬は効きません

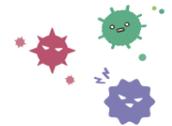
Q. 抗菌薬ってどんな薬ですか?

A. 抗菌薬は「細菌」をやっつける薬で、肺炎や膀胱炎など細菌が原因の病気に使います。一般的によく知られている「抗生剤・抗生物質」も抗菌薬の一種です。



Q. 風邪には効かないのですか?

A. 風邪の原因のほとんどは「ウイルス」です。抗菌薬はウイルスにはまったく効きません。飲んだら早く治った気がするという方もいますが、それは「自然に治るタイミング」と重なっているだけです。風邪は3~4日でピークを迎え、その後自然に治ります。



Q. 出してもらっても意味がないのですか?

A. 風邪には意味がありません。それどころか、下痢やアレルギーなどの副作用が5人中1人に起こります。また、使いすぎると薬が効かない「薬剤耐性菌」が増え、本来治るはずの感染症が治らなくなります。

Q. 風邪のときはどうすればいいですか?

A. しっかり休む、水分をとる、無理をしないことが大切です。「抗菌薬をください」と医師に求めたり、余った抗菌薬を自己判断で飲んだりするのはやめましょう。

Q. 岡山市立市民病院で抗菌薬を処方されたらどうすればよいですか?

A. 当院の医師は抗菌薬が必要・不要な病態を適切に見極めて処方しております。医師の指示に従って飲んでください。ご不明の点があれば医師までご相談ください。



「人生会議」を 考えましょう

岡山市立せのお病院院長
白井 正明

8

せのお病院では、入院の際、すべての患者さんに「蘇生処置に関する説明と意志確認書」で心臓マッサージや人工呼吸器装着などの延命処置の意向をお伺いしています。終末期において、「意識がなく、回復の見込みが無い状態になったら人工呼吸器はつけない」、「いや、私はできるだけ延命治療もして努力してほしい」などいろいろな考え方があります。

人生の最終段階における医療やケアについて、前もって考え、家族と話し合い共有する取り組みのことをACP(アドバンス・ケア・プランニング)と言います。厚生労働省がACPにつけた愛称が「人生会議」です。

加齢とともに病気がちになり、療養する機会が増えます。それは、家族や周囲の人の生活にも関わります。もしもの時に、前もって準備し、どのような場所でどのような医療やケアを受けるのかの話し合いを重ねることで、将来に後悔のない最期を迎えることができます。

せのお病院では、患者さんの「人生会議」を支える取り組みをしています。「最期」のことを「縁起でもない」と避けるのではなく、ご家族やお友達、医療従事者や介護スタッフと前もって話し合う「人生会議」を考えましょう。まず、ご自身の「今の心づもり」を記載することから始まります。



外来について

外来診療受付時間 【初診】8:30~11:00 【再診】8:30~11:30 及び12:00~15:30
自動再来機での受付 (3か月以内に当該科に受診歴のある方) 7:45~16:30

- ただし、急患の場合はこの限りではありません。
- 担当医は都合により変更になることがあります。
- 予約がない方の受付は9:00からになります。必ずしも受診できない場合があります。

外来診療担当についての最新情報は
右の二次元コードよりホームページをご確認ください。



読者アンケートのお願い

今後の誌面作成の参考とするため、読者の皆様から本誌に対するご意見をお寄せください。右の二次元コードよりアンケートにご回答いただけます。



市民病院連携医療機関の紹介  地域の「かかりつけ医」として、当院と連携をとってくださっている医療機関をご紹介します

川村医院

内科・小児科・消化器内科・糖尿病内科

当院は岡山市北区奥田にて開業している内科クリニックであり、今年で開院から60年になります。

消化器内科、糖尿病を専門としておりますが、地域のかかりつけ医として一般内科全般に対応できるよう努めているとともに、ホームへの訪問診療なども積極的に行っております。

市民病院には勤務医時代に一緒に仕事をさせていただいた先生方が何人もおられるため心強く感じているとともに、救急外来をはじめとした各科の先生方に当方が診療に困った際には迅速にご対応いただいております。心より感謝いたしております。(特に感染症流行の最中においては病院側も大変であるにもかかわらず、紹介の相談の電話に丁寧に対応いただいた各先生方や職員の皆様には、日々有難く感じておりました)

今後も地域の皆様のお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



川村 望院長



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:45	○	○	○	○	○	○	休
16:00~18:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

〒700-0933
岡山市北区奥田2-8-3
TEL:086-223-6322

市民病院Topics

公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価認定のご報告

2025年8月に受審した公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rd: Ver.3.0)において、審査の結果、同機構の定める認定基準を達成していると認められました。

2004年の初回認定以来、今回で5度目の更新となります。

本認定は、当院が提供する医療が第三者機関により一定の水準を満たしていると評価されたものです。今回の認定を励みとし、今後も患者さんからの信頼と満足を得られるよう、職員一同、より一層努力してまいります。



認定証を掲げる狩山副院長
(機能評価統括リーダー)

 **YouTube**
**岡山市立市民病院
公式チャンネル**
好評配信中
ぜひご視聴ください!

動画視聴はこちら


岡山市立市民病院
LINE公式アカウント
友だち募集中

友だちになると…
病院情報が簡単に確認できます!

友だち登録はこちら


外来診療担当表 休診のお知らせ
イベント情報 広報誌 等

@960tcltv 

ACCESS MAP

岡山市立市民病院までのアクセス

- JR** 山陽本線で岡山駅から北長瀬駅まで約4分(北長瀬駅より徒歩1分)
- バス**
 - 岡山駅より北長瀬駅前まで約22分 ●天満屋より北長瀬駅前まで約16分
 - 岡電バス・下電バス・両備バス共同運行 時刻表はホームページをご覧ください
 - 岡山駅から約4km、約10分 ●山陽自動車道岡山ICから約8km、約20分
 - ※車・タクシーをご利用の方は病院西側へお越しください。駐車場があります。
- 車** 外来受診の方は入場後6時間まで無料、以降30分100円
お見舞い・一般来院者は30分100円

